

古代米を稲こぎ

11月26日(木)西伯小学校5年生(73人)が、自分たちが春に植えた古代米の脱穀を行いました。

法勝寺地区地域振興協議会の地域活動部とコミュニティスクールの働く部とが協力し、西伯小学校の「総合的な授業」を利用して、子どもたちにも米づくり体験をさせることで農業に興味を持ってもらおうと取り組まれました。

10月30日に稲刈りをして、ハデ干しされていた稲は、子どもたちの手でハーベスターに運ばれていきました。

約6畝ほどの田んぼからは古代米と餅米が合わせて4俵ほど取れ、初めての体験に児童は面白いと声をあげていました。



初めての稲こぎ体験

共助交通の試験運行開始



利用する遠藤さん夫婦

鳥取県が中山間地域の交通不便解消策として、南さいはく地区をモデル地区に「共助交通システム」の試験運行を11月30日から一ヶ月の予定で実施しました。

これは住民同士がマイカーを利用して無料で病院、スーパーなど目的地まで送迎を行うというもの。南さいはく地域振興協議会がバックアップし、利用者は3日前までに予約を行います。

この日は高齢のため免許証の更新をされなかった一杵の遠藤さん(88)夫婦がさっそく利用され、「大変助かりますね」と今後に期待されました。

けすゾウくん出動

天津地域振興協議会の総務企画部が中心となり、8月に南部町に配備された、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を使って11月14日(土)と21日(土)に防災訓練を行いました。訓練では、消火器の使い方を防災コーディネーターの定森さんが指導し、併せて家庭の消火器の無料点検を業者にもお願いしました。

「けすゾウくん」は2日間で7つの集落を回り、延べ90人が消火訓練に励み、消火器と火災報知機の重要性を学びました。



消火訓練の様子

テレビ会議システム始動



大画面のテレビモニター

法勝寺庁舎、天萬庁舎、健康管理センターの3箇所をつなぐ「テレビ会議システム」が12月3日設置され、運用を開始しました。

これは、庁舎間と健康福祉課の建物と離れているため、町民の皆さんに移動をお願いしたり、直接の担当が対応できないことをご迷惑をかけたたりすることの解消を目的としています。

画面は16:9のワイド画面で、町所有の光ケーブルを利用することで通信料は無料、動画もスムーズなため、今後の利用に期待が高まります。